

進路通信

令和5年11月21日発行 第5号

青森県立青森中央高等学校

進路指導部



1・2年次進路ガイダンスの開催



10月17日(火)に1・2年次対象の「進路ガイダンス」が青森産業会館を会場に開催されました。県内外から合わせて96校の大学・短大・専門学校に参加いただきました。生徒達は1人3回担当者から、学部・学科の特徴、教育施設の充実度、資格取得等についての説明を受け、記録用紙にまとめて進路について考えました。

生徒達が学んだこと

大学の各学科の特徴を、パンフレットを見ただけでは分からないところまでも説明してくれた。(2年次)

歯科技工士と歯科衛生士の仕事の違いがわかった。(1年次)



「主体的な生き方」という講話を聞いて、生き方の視野が広がった気がしました。(2年次)

「進路を決める上で大切なこと」

進路＝自分の進む路に、将来の夢につながる道「どの路に進むことより、多くの人を喜ばせることができるだろうか」という視点で考えること。



理学療法士と作業療法士の学習の違いを学ぶことができた。(1年次)



社会連携教育という、地域と協力して行う学びがあることを知った。(1年次)

ブライダル専門学校には、ウェディングプランナーコースとドレスコーディネーターコースがある。(1年次)

「心理・音楽・英語」の3つのキーワードで保育のプロに！(1年次)

大学の推薦基準が、より詳しくわかった。(2年次)

働くとは「はたらく＝「はた＋らく」と分けることができる。自分の周りの人を喜ばせるという意味がある。

「周りの人を喜ばせる意識をもって普段から行動すること」が大事である。

「挨拶」は最大の自己PR～「なりたい自分」になるために～(今月のコラム)

進路を決めるために考えて欲しいことのひとつが「適性」です。自分の目指す仕事に向いているのはどんな人物か、自分はそういう人物だと言えるかどうか、ということです。

例えば、挨拶について考えてみましょう。あなたは普段、どんな風に挨拶していますか。挨拶は自己PRのベースになります。つまり、挨拶で自分がどんな人物であるかを表すことができるのです。明るい人、親しみやすい人…「なりたい自分」になるために、できることから考え実践してみましょう。



将来の進路選択の方法について～気になる職業から探す～

1・2年次生は、進路志望調査の用紙が渡され、将来の進路について考えなければならないと思っていることでしょう。特に2年次生は、半年後には具体的に動き出し、必要な応募書類の準備をしなければなりません。一般に上級学校を選択する方法として、「なりたい職業に就くには」どのルートが適しているのかで考えることがあります。ここでは、生徒に人気のある理学療法士と管理栄養士の仕事から説明していきます。

理学療法士の学校の選び方

理学療法士になるには、理学療法士養成課程のある大学や3年制短大、専門学校などを卒業し、国家試験に合格する必要がある。学べる内容を比較した場合、大学は研究者がいる関係で最先端の理論を学びやすく、専門学校は実践的な内容を学びやすいという違いがある。また、実習先で比較する方法がある。併設病院で実習できる、実習先が豊富で選択できるなど、実習の内容にこだわる必要がある。学校・コースによって医療分野に強い、スポーツ分野に強いなど、さまざまな特色がある。自分がどんな理学療法士になるかが重要である。

☆理学療法士になるには

理学療法士

理学療法士国家試験

大学(医療技術系学部)など

3年制
短大など

専門学校
など

高校卒業

栄養士・管理栄養士の学校の選び方

栄養士の資格は、大学や短大、専門学校の栄養士養成課程を修了すれば得られる。管理栄養士の場合は、栄養士の資格を取得した後、実務経験を経て管理栄養士国家試験に合格して得られる。一部の大学は管理栄養士の養成課程を設置しており、こうした課程を修了すれば卒業と同時に国家試験に挑戦できる。

どの学校に進んだ場合でも、実際の調理や配膳を学内の実習施設で学ぶことになる。そのため施設が新しいか、規模が大きいかは学びやすさに直結する。栄養士が活躍するフィールドは広く、さまざまな職場に就職できる。医療現場で働きたいのなら、医療系の科目に力をいれているかどうか、病院に就職している卒業生が多いかどうかをチェックしてみよう。

☆栄養士・管理栄養士になるには

管理栄養士

管理栄養士国家試験

(実務経験1年以上) (実務経験2年以上) (実務経験3年以上)

栄養士

大学
管理栄養士
養成課程

大学
栄養士
養成課程

短大・
専門学校
3年課程

短大
専門学校
2年課程

高校卒業